

# 事業実施報告書

法人名 特定非営利活動法人 春日部地域資源振興会

事業名	春日部地域資源再活用自立事業
助成事業の種類	(1) SDGs推進事業(人間 豊かさ 地球 平和 パートナシップ) (2) 自立促進事業(人間 豊かさ 地球 平和 パートナシップ)
1. 事業の目的	当振興会は春日部市の地域資源を活用した事業を展開しており、現在、地域B級グルメや桐の育成、桐材を使った伝統工芸、桐箆笥、押絵羽子板などの生産者の技術の伝承・支援等を行っている。 こうした中で、SDGsを意識した場合に、現在、焼却処分している桐の端材等を薫炭として加工して再活用することで、桐の栽培 桐の伐採 桐材の加工 桐製品の活用 不要な桐材の再活用(薫炭) 肥料化とこれまで以上に循環を行うことが可能となる。 また、桐箆笥作りの技術を用いて桐椅子のサンプルモデルを数種類試作する事で自立に結びつける。
2. 事業で取り組んだ地域や社会の課題	桐資源の保持による里山の活性化 新たな桐製品の作成と持続化 春日部地域資源(桐製品、押絵羽子板、地元拘り食品)の振興 後継者育成
3. 取り組んだ事業の具体的な内容・実施結果	(1) 桐炭の製造 【事業内容】これまで焼却処分していた桐端材や古い桐箆笥等を活用して、「桐炭」を製造し、梱包して今年度は啓発品として配布する。将来的には、販売することで当会の自主財源とする。 【実施結果】「桐炭」については、桐材を大量に発生させないと炭を焼くことが難しく、また、市街地が近接する地域では焼けないことが分かった。今回は、会員を通じて会津の桐材加工所から仕入れて実施した。また、「桐炭」は軽いものの柔らかいため壊れやすく扱いが難しいことが分かった。 (2) 桐椅子サンプル製作 【事業内容】会津桐で桐椅子を桐箆笥製作技術を活用して数種類製作し啓発品としてパンフレットに掲載し将来的には、販売することで当会の自立をはかる。 【実施結果】桐椅子については、材質が柔らかく重量も軽くて評判は良かった。今回は4種類の桐椅子を作成したが、製造ロットが大きくなれば価格は抑えられるものと考えられる。 (3) 普及啓発事業の開催 【事業内容】桐の普及啓発を行うために、押絵羽子板の製作事業を開催し、その時に啓発品として製造した「桐炭」を配布する。また桐椅子のモニタリングを行う。 【実施結果】「干支(ウサギ)の押絵羽子板づくり教室」 日時 11月20日(土)12:30~15:00 会場 春日部市民活動センター「ぼぼら春日部」会議室 参加者 小学生~70代 11人 参加費 1人1000円 モニタリングを行った桐椅子についても購入希望者が現れるなど高評価であった。さらに「桐椅子は温かみがあり、軽いことから高齢者でも楽に移動ができる高齢者住宅や高齢者施設等で大いに活用できるのではないか」といった話もあった。 (4) パンフレットの作成 配布 【事業内容】当会の活動をPRするためにパンフレットを作成し会員が行う各所のイベント会場等で配布する。また桐椅子のモニターを行う。 【実施結果】パンフレットについては2種類のものを作成した。1つはA4版両面

のフライヤーで 1,000 部、1 つは A4 版 4 ページ折りたたみのパンフレットで 3,000 部を作成し、さまざまな機会に配布した。  
1 か月程度で完成するとともに各イベントでも配布することができた。当会の活動状況や会員の顔が見えると好評であった。



【全体の事業実施日程】

月	日	
7	29	交付決定日
	2	当会の HP に「2022 年度事業がスタート」として、県助成事業に採択され、事業がスタートした旨を告知する
	8	NPO 法人 春日部地域資源振興会(愛称:カッチー)の活動を PR する「カッチーニュース No.22-01」(採択いただいた春日部地域資源再活用自立事業の紹介)を配信するとともに当会 HP に掲載する
		
	8	飯島代表が桐椅子4点の製作を行う (11~13日、16~20日まで継続) 【作業風景】
		
		製材作業      組立作業      組立作業
	11	【完成品】
		
		桐ロッキング椅子      桐リビング3段引き出し椅子      桐引き出し付椅子      桐猫椅子(猫居す)
	24	役員会にてパンフレット作成委託業者(地域デザイナーの SadeLab.関根隆様)を選定する
9	29	飯島代表と香田寛美会員にてパンフレット作成についてデザイナーの SadeLab.関根隆様との打合せを行う
10	4	飯島代表、関根様、写真家の Studio Terumin 小塚様にて桐椅子の写真撮影を行う(桐椅子写真撮影からスタート) (パンフレットのデザイン、校正等は 16~27 日まで継続する。パンフレットは 6 回校正、フライヤーは 4 回の校正を行う)
		

		12	香田会員にて桐炭配布用袋のシール貼り(当面の200袋)を作成する	
		14	飯島代表、関根様、小塚様にて押絵羽子板の水野進副代表、広島風お好み焼き・七夜の浦尾康平会員の写真撮影2回目を行う	 
		19	「カッチーニュース No.22-02」にて活動状況(令和4年度のNPO活動促進助成事業の紹介とともに当会の活動内容)を報告するとともにHPにて公表する	
11		3	A4・4ページのパンフレット3,000部が納入される(別添)	
		3	A4・2ページのフライヤーが1,000部納品される(別添)	
		3	「カッチーニュース No.22-03」にて活動状況(春日部地域資源再活用自立事業で完成したパンフレットの紹介)を報告するとともにHPにて公表する	
		9	飯島代表、香田会員にて桐炭の袋詰め(200袋)を行う	



		
	9	<p>お菓子の家スワンにてパンフレット配架</p> 
	10	<p>「押絵羽子板づくり教室」の参加者募集『春日部ファミリー新聞』に記事掲載</p> 
	16	<p>飯島代表と香田会員が参加している「経営革新塾しよう会」(城和努会長、会員 33 名)の 11 月例会にて「NPO 法人 春日部地域資源振興会」の今年度の活動を PR する</p> 
	20	<p>水野副代表による「押絵羽子板づくり教室」を開催、11 名が受講する      (参加者の感想)「とても楽しかった」「兎の表情を作るのが難しいけれども、出来上がると可愛い」「とても可愛い羽子板ができました」「毎年、干支の動物で羽子板を 12 枚揃えてみたい。それまで元気に過ごしたい」      参加者に「桐炭」とパンフレット等を配布して PR する      (参加者の感想)「とても軽い」「消臭剤として使ってみたい」      桐椅子を展示してモニタリングを行う      (参加者の感想)「猫の耳が可愛い」「とても軽くて、持ち運びやすい」「座面が柔らかくて、とても座り心地が良い」</p>  <p>参加者の制作風景      完成した羽子板</p>
	20	<p>「カッチーニュース No.22-04」にて活動状況 (押絵羽子板づくり教室) を報告するとともに HP にて公表する</p> 

		29	<p>「カッチーニュース No.22-05」にて活動状況(当会の活動が共助社会づくり課の Facebook『Saitama 共助 Style』にて紹介されたこと)を報告するとともに HP にて公表する</p>	
	30		<p>春日部市立八木崎小学校 3 年生 103 名と付き添い教員 6 名が社会科見学で飯島桐箆筒製作所に訪れました。飯島代表から「桐椅子の説明、桐箆筒のできるまでの説明」を行い、匏掛けの体験も楽しんでもらった</p>	
	3	12	<p>ぽぼらフェスティバルにて、桐炭の啓発を行うために 50 袋をイベント景品として提供した〔～4 日〕</p>	
	11		<p>八木隆太会員が東京都有楽町交通会館の出店会場にてパンフレットを配布するとともに、商品の説明等を行う</p>	
1	21		<p>当会令和 4 年度総会にて事業実績等を報告する</p>	
4. 事業実施により達成した成果の具体的な内容			<p>【広報等】      当会ホームページ及び広報紙「カッチーニュース」にて報告する      《カッチーニュース》      No.22-01 2022 年 8 月 8 日「春日部地域資源再活用自立事業！」      No.22-02 2022 年 10 月 19 日「春日部地域資源再活用自立事業」      No.22-03 2022 年 11 月 2 日「活動を PR する素敵なパンフレット！」      No.22-04 2022 年 11 月 20 日「各々の「干支の押絵羽子板」が完成」      No.22-05 2022 年 11 月 29 日「埼玉県の助成事業もほぼ完成へ！」</p> <p>(1) 桐炭の製造  <b>【成果】</b>「桐炭」は、桐材を大量に発生させないと炭を焼くことが難しく、また、市街地が近接する地域では焼けないことが分かり、今回は、会員を通じて会津の桐材加工所から仕入れて実施した。  <b>【配布数】</b>      11 月 20 日の「押絵羽子板教室」にて 20 袋程度配布      12 月 3・4 日の「ぽぼらフェスティバル」にて 50 袋配布      12 月以降の販促会で 130 袋配布</p>	

	<p>(2) 桐椅子サンプル製作  <b>【成果】</b>桐椅子については、材質が柔らかく重量も軽くて評判は良かった。今回は桐ロッキング椅子、桐リビング3段引き出し椅子、桐引き出し付椅子、桐猫椅子（猫居す）の4種類の桐椅子を作成したが、製造ロットが大きくなれば価格を抑えられ、需要も増えることと考える。      展示モニタリングした桐猫椅子については「とても軽くて持ち運びが良い」「座面も柔らかく温かみがあっていい」「デザインも猫耳で可愛い」などと参加者からは高評価をいただいた。      「経営革新塾しよう会」会員からは「桐椅子は温かみがあり、軽いことから高齢者でも楽に移動ができる高齢者住宅や高齢者施設等で大いに活用できるのではないか」との提案があった。高齢者施設等でのモニタリング等を通じて販路の拡大を検討していきたい。</p> <p>(3) 普及啓発事業の開催  <b>【成果】</b>「干支（ウサギ）の押絵羽子板づくり教室」を開催したが、10名募集のところ11名の参加、さらにキットを2人が追加され、羽子板づくりを楽しんでくれた。      羽子板作りに対しては「とても楽しかった」「来年もこうした取り組みに参加したい」といった声があった。</p> <p>(4) パンフレットの作成 配布  <b>【成果】</b>今回2種類のパンフレットを作成し、さまざまな機会を通じて配布することで、市内外において当会の活動に対する理解が深まるとともに、会員間でも当会の活動に対する自信に繋がった。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">《作成数》</td> <td style="text-align: center;">《配布数》</td> </tr> <tr> <td>A4・4ページパンフレット 3,000部</td> <td>1,200部</td> </tr> <tr> <td>② A4・2ページフライヤー 1,000部</td> <td>600部</td> </tr> </table>	《作成数》	《配布数》	A4・4ページパンフレット 3,000部	1,200部	② A4・2ページフライヤー 1,000部	600部
《作成数》	《配布数》						
A4・4ページパンフレット 3,000部	1,200部						
② A4・2ページフライヤー 1,000部	600部						
5. 費用面での工夫	<p>(1) 桐炭の製造  <b>【工夫】</b>今回は小ロットであったため、会員を通じて桐炭を生産している会津の桐材加工所から仕入れて実施した。</p> <p>(2) 桐椅子サンプル製作  <b>【工夫】</b>原材料生産地において大まかな木取りを行ってもらうことで端材ができるだけ生じないように工夫した。</p> <p>(3) 普及啓発事業の開催  <b>【工夫】</b>「干支（ウサギ）の押絵羽子板づくり教室」での参加者に対して、キットの半額を負担してもらうことで費用を削減した。</p> <p>(4) パンフレットの作成 配布  <b>【工夫】</b>パンフレット作成については、市内の知人デザイナーに委託することで出張経費等を無くし、低価格での作成を行うことができた。</p>						
6. 地域社会への還元について	<p>「桐炭」の無償配布      地元の春日部市民活動センター「ぼぼらフェスティバル」において「桐炭」を提唱し、イベントへの景品として活用してもらった。桐材の有効利用を通じて、春日部の伝統工芸、桐箆笥、押絵羽子板などの普及により、生産者の技術の伝承や支援を行うとともに、消費者の地域資源の保全啓発に繋がった。</p> <p>「桐椅子」の無償貸与（予定）      地元の高齢者施設でのモニタリングも含めて、「桐椅子」の長期間無償貸与を行い、利用者に快適性を味わってもらう予定。</p>						

	<p>「地域資源のSDGs」      今回の目的であった「桐の栽培 桐の伐採 桐材の加工 桐製品の活用 不要な桐材の再活用（薫炭） 肥料化」については、ハードルは高いものの、こうした循環によりSDGsが可能であることが実証できた。特に、加工・消費地の春日部だけでなく、桐産地との連携強化に努めることが大切である。</p> <p>「新たな桐製品の作成と持続化」      桐箆笥の伝統的技術を駆使して、新たな桐製品を作成することで、桐箆笥生産者の後継者育成の可能性を見出すことができた。</p>
<p>7. 来年度以降      どう事業を継      続し発展させ      ていくか</p>	<p>「桐炭」については、これまで以上に会津等の桐原材料産地との密接な連携を強化することと、産地での桐炭生産が拡大できるように桐製品の販売に力を入れていくことに努めたい。</p> <p>「桐炭」以外のものを活用して、SDGsに資する事業を検討していきたい。      来年度以降も、さまざまなデザインでの「桐椅子」の作成を行い、販売等を行う事で当会の自立を促したい。</p> <p>「桐椅子」については、消費者から期待される購入価格帯を調べるとともに、高齢者施設等でのモニタリング等を通じて販路の拡大を検討していきたい。</p> <p>「干支の押絵羽子板づくり教室」については、来年度以降も継続していきたい。</p> <p>「パンフレット」については高評価を得ており、当面、今回作成したパンフレットの増刷を図り、活動と会員各社PRに努めるとともに、より効果的なパンフレット等の作成を考えたい。</p>